

令和4年度地域づくり実践塾 事業報告書

令和4年2月4日

ブロック名： 北諸県ブロック

ブロック代表者名 中村 光彦

事業目的： 都城地方で歴史と深い関わりのある「食」をテーマに歴史を探り、次世代に伝承する。

名称：「ばあばと寒天密造工場」

実施日：令和4年10月2日（日）

実施時間：10時～13時

実施場所：ばあばカフェ（都城市高城町）、寒天密造工場跡地（都城市山之口町）

対象：小学生及び関係者

参加人数： 20 人

実施内容：

鹿児島藩時代から、都城地方で食されていた「寒天」。実際にお湯をわかし、天草から寒天をつくるまでの工程を体験。そのあと、近隣にある寒天密造工場跡地を訪れ、寒天と都城の歴史を学んでもらった。今回は、コロナ感染対策のため、少数募集で小学生を対象としたイベントとなった。

写真資料：



所 感：

今回こどもを対象とした食のイベント「寒天料理」を実施した。大鍋で湯をわかし、天草をゆでる作業に、子ども達は興味津々。歴史に裏付けされた食べ物であることを聞いて、更に興味を示していた。日本で忘れ去られた食の大切さと、次世代への伝承の大切さを感じた

名 称：「プチマリアージュ」（今後実施予定）

実 施 日：令和5年3月8日（水）

実施時間：19時～20時

実施場所：みやこんじょビレッジ（都城市牟田町）

対 象：地域づくり関係者

参加人数： 15 人

実施内容：

事業計画では、料理体験から「第4回マリアージュ」を開催予定であったが、県の医療非常事態宣言の延長を受けて、募集が困難となった。そのため、宮崎県地域づくりネットワークのメンバーが集まるブロック会議を利用して、マリアージュの魅力を堪能してもらおう。

※マリアージュとは？

直訳すると相性。ここでは、地元の焼酎と地元の料理との組み合わせを参加者に投票してもらい、食の魅力を再発見してもらおう。

今回は、3種類程度の焼酎に、昔から食べられている郷土料理を組み合わせ、どれが相性がいいのか？なぜそうなるのか？など、参加者で楽しんでもらう。

焼酎や料理の選別は、これまでのマリアージュに関わってもらった牟田町の若手経営者に依頼し、投票結果に対する解説も行う。

写真資料：これまでのマリアージュの様子



次年度への展開：

これまで、コロナ禍のなか、思い通りの活動ができなかったが、それでも「食」をテーマに、ぶれない実践塾を継続して行ってきた。次年度は、令和6年度に開催予定の地域づくりの全国大会の受け入れのための準備を行い、これまでの実践塾の成果を示したい。